

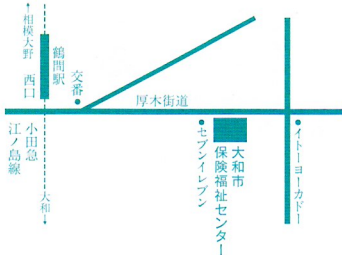


食のアトリエ10周年記念講演会

この事業は、「赤い羽根共同募金」の配分を受けて実施いたします。

●とき
平成26年
8月2日(土曜日)
13:30開場(14:00~16:00)

●ところ
大和市
保健福祉センターホール
小田急江ノ島線「鶴間駅」下車徒歩5分



入場無料(入場整理券有)

事前にお申し込みが必要です。
当日も受け付けます。

申し込み先

電話 046-264-7434 小宮山
fax 046-276-0767 竹川
Email syokunoatorie2014@yahoo.co.jp

保育は要相談

●主催 = 食のアトリエ ●協賛 = (株) ニッコー / 大和倫理法人会 / ヘルスロード / ウエムラ塗装店 / OK チウリバスの会 / 株式会社 永屋 ●後援 = 大和市 / 大和市教育委員会 / 大和市社会福祉協議会 / 大和市民活動センター / 国際ソロブチミスト紫胡 / タウンニュース / 大和ラジオ放送株式会社 / 大和YMCA

「詩は心の食べ物」

寮美千子講演会

りよう・みちこ・詩人・作家・奈良少年刑務所「社会性演義プログラム」講師



寮美千子さんの本

空が青いから
白をえらんだのです

奈良少年刑務所詩集
寮美千子・編 長崎出版・新潮文庫

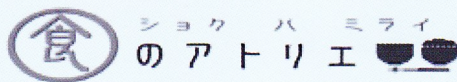


りょう・みちこ profile

詩人・作家・日本ペンクラブ会員。1955年東京都生まれ、千葉に育つ。中央大学中退。外務省勤務、コピーライターを経て、86年、毎日童話新人賞を受賞し、作家活動に入る。2005年、小説『楽園の島—カルカッタ幻想曲』で泉鏡花文学賞受賞。06年奈良市へ移住し、07年より奈良少年刑務所「社会性涵養プログラム」講師。授業で生まれた詩をまとめた『空が青いから白をえらんだのです—奈良少年刑務所詩集』が話題を呼んでいる。児童文学からノンフィクションまで幅広い著作がある。

寮美千子さんと私たちは、二〇〇六年に食のアトリエの活動指針となる「食のアトリエ憲章」をわたくしたちはみな命を食べている」を書いていただいたご縁があります。憲章を私たちは折りにふれ掲げ、食に関わる活動を地域に広げることができました。

寮さんは近年、奈良少年刑務所の少年たちに詩を書く指導をし、子どもたちの心を耕す仕事をされています。その少年たちの詩をあつめた『空が青いから白をえらんだのです 奈良少年刑務所詩集』（詩・受刑者、編・寮美千子、新潮文庫）を二〇一〇年に出版されたことを知り、珠玉の作品を知っていただきたいのと、感謝をこめて、講演会を催すことにしました



食のアトリエ憲章

わたくしたちは
みな命を食べている

思えば不思議です。
食へるということは、
無数の他者が自分になること。
さっきまで「りんご」だったものが、
一口かじったとたんに
「わたし」になるのです。

そのりんごを育てた太陽の光や、
ふりそそいだやわらかな雨、
吹き抜けた風や、大地の滋養が、
めぐりめぐって、わたしになる。
つまり、わたしは
りんごを育てた「環境」
そのものを食べていることになる。
そう思えば、この世界を、
いつまでも汚れない、
美しい世界にしたいと思います。
きれいな水、きれいな空気、
きれいな大地があつてこそその、
わたしのすこやかな命なのです。
食へるといふことは、
世界とつながること。
地球をまるごとかじること。
めぐりめぐる命のひとつとして輝くこと。
「いただきます」の一言に、
みんながその気持ちを込められれば
世界はきつと、もつともつと
美しい場所になるでしょう。

作：寮美千子